

JGA 全国通訳案内士研修テキスト【2】 関東(清水港)

2020 年版 エリア別案内マニュアル

目 次

1. 実習にあたって	1
2. 都内	3
3. 日光	34
4. 富士山・箱根	44
富士山エリア	46
箱根エリア	50
5. 鎌倉	58
6. 横浜	62
7. 清水港からのショアエクスカージョン	69
◆ JGA 賛助会員一覧	

この冊子は、一般社団法人日本観光通訳協会（JGA）の全国通訳案内士新人研修会をはじめとする研修のテキストとして使用しています。

本テキストは 2020 年 1 月末現在のデータ・事情に基づいて編集しています。施設の環境や各種サービス、規則等の運用ルール、その他の諸事情は、刻々と変わっていきます。常に下見や確認をし、最新の情報を得るよう心がけてください。

©2020 年 一般社団法人日本観光通訳協会 許可のない複製・転載は一切禁じます

【明治神宮・原宿・表参道エリア】

明治神宮 ☎03-3379-5511

明治天皇（1852年11月3日生～1912年7月30日没）と昭憲皇太后を祀り、1920（大正9）年創建。約70ha。大鳥居（第二鳥居）は台湾産のヒノキで、木造の明神鳥居では日本最大の大きさ。初詣の参拝者は三が日に300万人とも言われ、日本一。おみくじは「大御心（おおみごころ）」と言われ、吉凶ではなく、教訓的な詩文・和歌（明治天皇の御製と昭憲皇后の御歌）に解説文を付している。

広大な明治神宮の杜は、全国からの献木365種・10万本を植樹。100年後に自然に世代交代をする健全な自然林に育つことを目指し計画された。現在、都心にあって230種余りの樹木、絶滅危惧種を含む多くの生物が生息する豊かな自然環境を保ち、60年余りで133種の野鳥を観察したという報告もある。

神道や日本人の宗教観、明治という時代、元号、天皇制、結婚式、日本酒、酒の役割など、多くの話題とつなげることができる。

- ・徒歩での境内出入口は原宿駅に近い原宿口（南参道）、代々木駅寄りの代々木口（北参道）、小田急線参宮橋駅に近い参宮橋口（西参道）がある。2020年完成予定の原宿駅新駅舎では、明治神宮側に出口が新設される予定。
- ・車両の場合、2019年秋より、原宿口からの進入ができなくなり、代々木口（北門）からのみとなった。外苑・千駄ヶ谷方面から来る場合、北門近くのJR高架の高さ制限は3.5m。境内入口で守衛に「参拝です」と告げ、指示された駐車場（無料）へ。参拝者用のため空バスでの入出は不可。（原宿散策との組み合わせの際は動きに注意。代々木公園脇などで降車し、徒歩で明治神宮～原宿と散策する場合もある。）
- ・観光バスは神宮会館脇の第1駐車場を利用。駐車場内にトイレ（2019年12月現在、境内の他のトイレに比べ古く、状況が良くない）、土産店、飲料自動販売機有り。2019年12月現在、駐車場から参道への出入口に分かりやすい目印が無く、迷子になりやすいため注意が必要（参道に出たところの数字看板などを目印とする）。駐車場から北参道を通って大鳥居をくぐり（南参道方向に酒樽が見える）、社殿に進むのが一般的な拝観順路だが、大鳥居への途中にも社殿に通じる道がある。社殿からの帰りは、社務所・車祓舎の前を通って北参道に戻る方が近い。途中でトイレ（改装済み、洋式中心）有り。
- ・境内が広いので、まとまって歩く場合でも、先に出発時間を決めておくのが無難。駐車場から拝殿までは片道15分程度だが、説明しながら歩けば全体の観光に少なくとも30～40分必要。駐車場から観光を始める場合、途中から参道に入る形になり、戻り道が分かりにくい。お客様の目には参道はどれも同じように見える。戻り道をフリーにする場合、駐車場を出る際に一度ふりかえって確認したり、帰りは分かれ道に立って案内したりするなど、工夫が必要。
- ・本殿前での説明は参拝者の妨げにならないよう配慮し、中央でなく脇によって行う（団体の場合は石段を上る前が無難）。石段に座ることは参拝客の邪魔になり、また、礼儀上も不可（他の寺社でも同様）。参拝場所の石段から先では写真撮影不可。神職・巫女の写真については都度確認のこと。（一般に、奉仕中の神職、社務所やお札所の撮影は不可の神社が多い。）
- ・週末、祭日などは結婚式が多く、また、七五三、お宮参りほかの行事や祭事に当たることも多い。お客様に喜ばれる反面、写真などで所要時間が長くなることもある。週末祝日はその点を考慮して時間配分する。結婚式の行列が通る際は守衛の指示に従う。
- ・毎日の御日供祭、毎月1日・15日の月次祭など祭礼や奉納行事、催しも多い。HPなどで確認すること。春秋の大祭では神前舞台が設けられ、伝統芸能の奉納を含むさまざまな行事が行われる。
- ・フォレストテラス明治神宮（旧明治神宮文化館）：レストラン、カフェ、売店。トイレ（改装済み、洋式中心）隣接。南参道途上にあるため、原宿側より徒歩での参拝時の休憩などに便利。酒樽手前を右に入る。

- ・参道は平坦だが玉砂利に覆われている。車椅子・乳母車用に、参道端に石板の通路が設置された。
- ・灰皿のある所以外は禁煙。
- ・鎮座百年事業（2020年完了予定）の一環として社殿群の銅板屋根葺き替えなど修復工事、スローヤ石板の道の設置などが行われた。本殿修復工事は2019年秋に終了。
- ・開閉門時間は月により異なる。12月は最も早く16:00に閉門。境内にいた参拝者はその時間以後も退場可能だが、車両は閉門までに出さないといけない。正月などバスの規制有り。
- ・所要時間：駐車場から約45分～60分。徒歩で境内に入る場合は、プラス10～20分。
- ・境内無料。御苑と明治神宮ミュージアムは有料。

御苑

江戸時代の大名下屋敷の庭があった辺りで、明治期には代々木御苑となり明治天皇夫妻が散策したと言われる。150種に及ぶ花菖蒲（6月中旬頃）は特に有名。また、近年のパワースポットブームで清正井（きよまさのいど）が一時期、行列の人気となった。500円。開苑は09:00（6月は08:00）で、明治神宮より遅いので注意。

明治神宮ミュージアム ☎03-3379-5875

鎮座百年事業の一環として2019年開館。隈研吾設計。原宿側入口から南参道を進んだ右手にある。耐震工事のため閉館した宝物殿に収蔵されていた明治天皇・昭憲皇太后ゆかりの品などを展示。一般1,000円、高校生以下900円、小学生以下無料。20名以上団体料金900円。1階「杜の展示室」（明治神宮に関する展示・映像）のみの場合は300円（小学生以下無料）で観覧できる。木曜（祝日は開館）および展示替え期間中は休館する。10:00～16:30（入館は30分前まで）。

原宿・表参道

青山通りから原宿駅まで続く約1kmのケヤキ並木の道は、明治神宮の参道として整備された。現在では青山にかけての一带に高級ブランドの旗艦店をはじめブティックが並ぶファッションの街。最近では、カジュアルブランドや飲食店の出店も多い。一方、原宿駅竹下口から明治通りまでの竹下通りには、若者に支持される個性的なファッション・雑貨や飲食店がひしめく。動物カフェやポップカルチャーも楽しめる。表参道のオリエンタル・バザー（木曜定休）、キディランド、竹下通りのダイソーは外国人観光客にも人気。ファッション関係では、開店が11時以降の店も多いので、買い物目的の場合は注意する。

また、代々木体育館（丹下健三）、表参道ヒルズ（安藤忠雄）、TOD'S（伊藤豊雄）、スパイラルビル（青山通り、槇文彦）、プラダビル（南青山、Herzog & De Meuron）ほか、数多くの内外の有名建築家の作品が見られる街としても知られる。

神宮前には浮世絵の太田記念美術館（月曜休館）があり、南青山の根津美術館（月曜休館。展示替えの休館も注意）も近い。

バスの乗降は、代々木公園脇（413号）か明治通りが使われることが多い。代々木公園脇はバスがたて込むことも多く、明治通りは待機が難しい。ドライバーとよく相談する。

尚、明治神宮への車両進入が代々木口のみとなったため、通りがかりに車窓で表参道を見る機会は減る傾向にある。

明治神宮外苑

新国立競技場、明治神宮野球場をはじめ多くのスポーツ施設が集中する。イチョウ並木が有名で、黄色く色づく晩秋には散策の人出も多い。（イチョウ並木は、青山通りを走行中でも目を引くが、すぐ通りすぎてしまうので注意。）

外苑内の周回道路やイチョウ並木は日曜・祝日はサイクリングコースとして開放される（交通規制09:00～17:00、レンタサイクルはオリンピックに伴う工事のため休止中）。

【横浜中華街】

500m×500m の地に 220 店以上の中国料理店をはじめ約 600 店舗が建ち並ぶ日本最大の中華街。小売りを含めると飲食関係だけで約 400 店の一大飲食街である。

1859 年の横浜港開港を機に、欧米人と共に多数の中国人が来日し、その後の華僑人口の増加とともに外国人居留地の一角に中国人街が形成されたのが始まり。(居留地の廃止後、中国人は居留地外にも住めるようになったが、理髪・料理・洋裁などに職業が制限された。) 日清戦争、関東大震災、日中戦争、空襲、戦後の混乱など多難な時代を経て、盛衰を繰り返しながら今日に至る。現在は人口約 6,000 人。

インバウンドでは、昼食などで立ち寄る他、雰囲気味わう程度に散策時間を取ることがある。関帝廟や媽祖廟を見学することもある。年間来訪者数は約 2,100 万人で、2 つの施設合計で約 3,200 万人の東京ディズニーランド及び東京ディズニーシーを単体としては上回る。世界のチャイナタウンと比べ、生活の場というよりも観光地の側面が大きく、来街者の 9 割以上が中国人でないのも特徴と言われる。

- 全部で 10 の門があるが、道路に面した主な 4 つの門は東西南北を向き、守護神が邪を見張る意味があると言われる：朝陽門（東：China Town 80 近く）、朱雀門（南：元町・中華街駅の元町口近く）、延平門（西：石川町駅近く）、玄武門（北：横浜公園側）。
- 主な年間行事：1～2 月春節祭、3 月媽祖祭、5 月国際仮装行列、10 月国慶節。
- トイレ：中華街パーキング、洗手亭（中華風建築）、China Town 80（朝陽門近く交差点、交番前）、朱雀門外 WC。大型ホテルとしてローズホテルがある。
- JR 石川町駅（JR 根岸線）北口から徒歩 3 分。みなとみらい線は元町・中華街駅下車。
- 中華街地図（日・英）有り。元町・中華街駅の構内や、ChinaTown 80 などに置いてある。
- 中国料理・雑貨以外の店や施設も増えている。よこはまおもしろ水族館（チャイナスクエア内）、ブラジルのシュラスコ料理店、動物カフェ、すし店、など。
- 中華街大通りでは、無料 Wi-Fi が 60 分間利用可。
- 人力車（横浜おもてなし家 ☎045-622-8146）有り。
- China Town 80：インフォメーションセンター、各店パンフレット、トイレ。☎045-681-6022
- 中華街パーキング：☎045-662-1402。乗用車は 30 分毎に 350 円。貸切バスは 30 分毎に 1,500 円、11 台。予約可能だが 2 日前から予約取消料がかかる。バスの駐車スペースは立体駐車場の 1 階で、建物（トイレ有り）内の通路を通過して中華街（開港道）に出る。
- 少し離れるが、バスは横浜貿易ビル駐車場を利用することもある。30 分毎に 1500 円。☎045-671-7768（予約のみ）

横浜関帝廟（よこはま かんていびょう） ☎045-226-2636

創建は開港後間もない 1862 年頃に遡り、関羽の木造を祀ったのが最初と言われる。現在の廟は 4 代目。この「廟」は寺院の意。三国志で有名な関羽は信義・忠勇の雄として古くから広く崇敬された。また、帳簿を発明するなど理財にも精通したと言われ、金儲や商売繁盛の神様として信仰される。境内は無料で入れるが、本殿内に参拝する場合は、境内の受付で 5 本の長いお線香（500 円）を購入し、本殿回廊の 5 つの香炉に順に供えて身を清める。本殿内に入るには、その際渡される参拝証（カード）が必要。本殿内のおみくじ（200 円）は任意で、表記は中国語と日本語のみで英語無し。金紙（1,000 円～）を供える場合は、本殿内の供物台に供えて参拝した後に、外の専用の炉で炊き上げる（金紙を購入しても、線香を供えて身を清めないと本殿には入れない）。開門 09:00～19:00、年中無休。

横濱媽祖廟（よこはま まそびょう） ☎045-681-0909

2006 年開廟、航海安全の守護神として、また、災害や疫病から人々を守る神として信仰される女神媽祖を祀る。宋代（10 世紀）に実在した女性が神になったと言われる。女神媽祖の他、金運の神、子宝の神、安産の神、縁結びの神、学問の神が祀られている。本殿内に参拝する場合は、境内入口近くの受付